

## 31【P2】I-343

ヌートカトン類縁化合物の微生物変換

○古澤 舞<sup>1</sup>, 野間 義明<sup>2</sup>, 橋本 敏弘<sup>1</sup>, 浅川 義範<sup>1</sup> (徳島文理大薬,<sup>2</sup> 徳島文理大人間生活)

【目的】 グレープフルーツの精油成分である Nootkatone (1)には交感神経を活性化し、脂肪燃焼作用をもつことが報告されている。今回、Nootkatone (1)の類縁化合物である Dihydronootkatone (2)、Tetrahydronootkatone (3)および Dehydronootkatone (4)の微生物変換を行い、興味ある代謝生成物を得たので報告する。

【実験および結果】 Nootkatone (1)の類縁化合物(2-4)を *A.niger* などの 8 種の微生物を用いて変換反応を行ったところ、微生物によってそれぞれ代謝経路の異なった生成物(2 から 5; 3 から 6; 4 から 7 など)を得た。

